



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第201号 2018年12月号

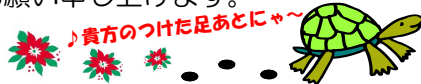
SINCE 2002.4.1.

発行日平成30年12月1日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
<http://www.sano-k.net/>  
info@sano-k.net

## お世話になりました

皆様におかれまして、2018年はいかがでしたでしょうか。弊社は地元のお客様のリフォーム、介護保険制度を利用した住宅改修工事を中心に組み込んで参りました。また、10年連続10回目の「よこすか産業まつり」に出展し、たくさんの方々にご来場いただきました。そして、この「すまい造りメール」が創刊200号を迎えることができました。改めまして心より感謝申し上げます。

今後とも皆様にご満足いただけるようなサービスや企画に取り組んで参りますので、ご愛顧、ご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。



SINCE 2002.4.1. お陰さまで **創刊200号**  
皆様のご愛顧に感謝申し上げます

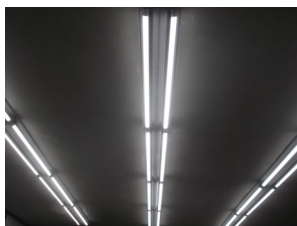


**エコプロ2018** 12/6~8  
東京ビッグサイト 東ホール

部屋の広さが10坪（約20帖）のオフィスの蛍光灯をLED照明（24管）に交換した事例をご紹介します。

LED照明に交換することは、省エネでかつコスト削減を実践できる有効な方法のひとつです。LED照明は、蛍光灯と比較して平均40%の消費電力で、熱を持ちにくい特長のため、夏場の暑い時期の空調効率もアップします。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」



また、蛍光灯の寿命の4~5倍と長持ちです。尚、機種によっては、既存の本体に付属部品を接続すればLEDのみの交換で済むタイプもあり、初期導入コストも抑えることができます。さらに、大きく言えば、低炭素化社会に向けて、CO<sub>2</sub>の排出量を削減することができます。LED照明特有の

「刺すような光」も徐々に柔らかくなってきているようです。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

## SDGs

12月6日（木）7日（金）8日（土）10:00~17:00、東京ビッグサイト東ホールで、20回目を迎えた「エコプロ2018」が「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」というテーマで開催されます。持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための世界、そして日本政府や業種を超えた企業のさまざまな取り組みが紹介されています。お子様とご一緒にご家族で環境グッズをゲットしながら楽しく自然環境について学べる一日になることができましたら幸いです。入場無料ですが事前登録されることをお勧めします。



<http://eco-pro.com/>

## よこすか文学館

<36>

横須賀市にゆかりのある文学者や歴史上の人物にスポットをあてて、時代背景とエピソードを交えながら彼らの文芸を紹介します。

### 【横須賀生まれ横須賀育ちの俳人】

高田風人子

俳人高田風人子（大正15-）は、当時の三浦郡浦賀町生まれ。逗子開成中学校、商工省東京機械技術員養成所卒業後、浦賀船渠（現住友重機械工業）に入社した昭和19年から高浜虚子主宰の俳誌『ホトギス』に投句を始めますが、しばらくは落選が続き、初入選は昭和21年、「春めける風を額に鉾を打つ」。その後、『ホトギス』のほか、虚子の次女星野立子主宰の『玉藻』、虚子の五女高木晴子主宰の『晴居』にも投句し、爾来、現在まで、虚子の提唱した「花鳥諷詠」を継承する俳句活動を続けています。昭和63年、『惜春』を創刊、主宰。地元を詠んだ句には、「我が町は相州浦賀しぐ時雨るる日」「横須賀の今よ昔よ春惜しむ」などがあります。



浦賀ドック

【洗足学園中学高校教諭 中島正二】

## 横須賀製鉄所物語（なぜ建設されたかその2）〈49〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

徳川幕府は、大型船の建造を禁止していましたが、ペリー来航により日本の海防について危機感を持ち、大型船の建造禁止を解除することになりました。そして、徳川幕府においても石川島造船所で大型船の建造に着手しました。そして、幕府も各藩と同様にオランダの造船に関する書籍の絵画をもとに設計し建造しますが、外見はともかく内部構造は和船そのものと言っても過言ではなく、外洋で利用できるものではありませんでした。そこで幕府は長崎の海軍伝習所のオランダ教官から評価を得ていた肥田浜五郎以下3名を1864年（元治元年）オランダに派遣し、大型船建造技術の伝習と大型船建造のための機械類の購入を命じます。しかし、その事業が進行中に幕府は小栗上野介の上申により、フランスの協力を得て横須賀に製鉄所を建設することになりました。

この小栗上野介の製鉄所建設の上申について、宮永孝著『万延元年の遣米使節団』（講談社文庫）には、「観察小栗豊後守はアメリカ滞在中海軍造船所を視察し、工場の規模や各種の機械の性能の優秀性に目をみはったことと思われる。（略）折から幕府の財政は窮乏し、その權威はしだいに凋落の一途をたどっていたが、小栗は造船所設立こそ国家の急務であると痛感した。彼は当時、勘定奉行と軍艦奉行の職掌を兼ねており、異論を排して計画に邁進し（略）小栗は内外危局の折に幕府の要職についたが横須賀製鉄所（横須賀海軍船廠）の創設が実現したのは、ひとえに国家の興隆と民族の安寧を第一に考えていた小栗の英断から出たことで、その裏にはアメリカで実見した造船・製鉄・船渠についての感銘と知識が深く心に刻まれ、船廠創設を立案するとき、彼の信念と体験が小栗自身と日本を導いていったに違いないと思われる」と記されています。



この幕府の決定により、肥田浜五郎はオランダでの事業の中止を申し渡され、直ちに帰国するよう命令を受けますが、時をおかずに幕府からフランスに派遣されている柴田日向守に協力するよう変更の命令を受けます。そして、オランダで購入した機械類は柴田日向守を通してヴェルニーへと引き継がれます。その中には肥田浜五郎がオランダで購入したスチームハンマー6基のうち、ヴェルニー記念館に展示されている3トンと0.5トンの2基が現存しています。製作したオランダでもこの時代の産業機械は現存せず、大変貴重な産業遺産として注目を集めています。（元横須賀市助役 井上吉隆）

## SANTA'S HOUSE

### SANTA'S HOUSE



2018年

SANTA'S HOUSE の企画は  
2020年まで続けます

11月3日(土)4日(日)三笠公園で「よこすか産業まつり」が開催されました。横須賀市の発表によりますと、両日でのべ36,000人（3日22,000人/4日14,000人）の来場者がありました。弊社のブースにも、リピーターを含む、たくさんの小さなお客様とご一緒に約50組のご家族の皆様にご来場いただきました。小さな手で、大きな夢を持って、サンタさんのすまい造りに挑戦していただきました。ありがとうございました。また、神奈川新聞の記事をご覧になられてお立ち寄りいただいた皆様にも心より感謝申し上げます。来年もまた「少し大きくなった」皆様にお会いしましょう。



### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2018」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索